# **MBD**

ミニカップリング ダブル

RoHS2対応

# 特長

- ●ユニバーサルジョイントのように許容エンドプレイ機能付カップリング
- ●外ハブ、内ハブ(ステンレス)、球の三要素の簡単な構造
- ●小型で強力、メカニズムの小型化に最適
- ●強粘特殊グリースを使用
- ●MBD 15~32のサイズは左右異径組合せが可能

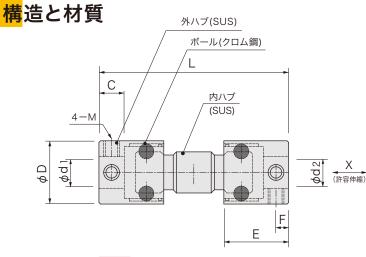




<選択:組立:使用上の注意>

JMBD11以下の小径:軸結合部はロックタイト等、強力接着剤で固定して下さい。 2)振動回転、衝撃有の負荷に対してはトルクマージンを2~3倍考慮してください。 4) 郷別回報、側筆号の具何に対しては下ルノマーンンを2~3倍考慮じてくたさい。
3) サーボ対応では十分なトルクマージンに加え、偏心、偏角も小さくしてください。
4) ボール結合部には高粘結強力グリースが塗布してあります。
5) 回転中は内ハブが軸方向にフリーなので左右に移動する事があります。
6) 頑丈で破損に強いカップリングですが偏心、伸縮等使用状況により摩耗することがあります。

組立:適用例



注意 かしめ部や止め輪部分に強い負担をかけないでください。 ハブが外れる場合があります(再組立不可)。

### 品番指定 MBD 20 - 10 KC |10∥K⊜ $(\phi d_1)$ $(\phi d_2)$ \*キー瀟加丁 無記入:キー溝なし K〇:キー溝幅〇 ■キー溝寸法 ød1とød2の穴径が異なる場 合は、φd1(小径)-φd2(大径) の順にご指定ください。

軸穴径	K	ŀ	o		キー呼び	
d1,d2	I K	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	寸法b×h
10	3	3	±0.0125	1.4		3×3
10~12	4	4		1.8	+0.1	4×4
12~17	5	5	±0.0150	2.3	0	5×5
17~20	6	6		2.8		6×6

キー溝形状は新JIS準拠が標準です。

(mm)

品番	D	標準穴径φd1,φd2 H8 (左右組合世自由)	L	С	E	F	М	締付トルク (N·m)
MBD 6	6	3	27.5	4	9	1.7	M2	0.25
MBD 8	8	3	33.5	5	11	2.5	М3	1
MBD 10	10	4	36.8	5.5	12	2.8	M3	1
MBD 11	11	5	38.8	6	12.5	2.8	M3	1
MBD 12	12	6	42.2	7	14	3	М3	1
MBD 15	15	6 8	46	7	15.7	3.5	M4	2
MBD 20	20	6 8 10	58.5	8	20.5	4	M4	2
MBD 24	24	8 10 12	64	10	25	5	M4	2
MBD 28	28	12 14 15	68	12.5	27.5	6	M5	4
MBD 32	32	16 18 20	73	12.5	29	6	M5	4

## 性能

品番	常用トルク (N·m) <sub>注(1)</sub>	最高回転数 (rpm) <sub>注(2)</sub>	ねじり ばね定数 (N·m/rad)	バックラッシュ ( °)	許容偏角 (°) <sub>注(3)</sub>	許容偏心 (±mm) <sub>注(3)</sub>	許容伸縮 (mm) <sup>注(4)</sup>	慣性 モーメント (kg・㎡)	質量 (g)
MBD 6	0.6	2,000	25	1.2	15	3	±2.0	2×10 <sup>-8</sup>	6
MBD 8	1.7	2,000	90	1.2	15	3	±2.3	7×10 <sup>-8</sup>	12
MBD 10	2.2	3,000	150	1	15	4	±2.2	1.7×10 <sup>-7</sup>	18
MBD 11	3	3,000	250	1	15	4	±2.5	2.5×10 <sup>-7</sup>	22
MBD 12	4	3,000	300	0.8	15	4	±2.5	4×10 <sup>-7</sup>	30
MBD 15	7	3,000	600	0.8	15	4	±3.0	1×10-6	50
MBD 20	17	3,000	1300	0.8	12	5	±3.5	4×10 <sup>-6</sup>	80
MBD 24	26	3,000	3000	0.5	12	5	±4	1×10 <sup>-5</sup>	110
MBD 28	32	3,000	5500	0.5	12	5	±4.5	2×10 <sup>-5</sup>	210
MBD 32	46	3,000	9000	0.5	12	6	±5	3.5×10 <sup>-5</sup>	290

- 注(1)常用トルクは偏角5°以下の場合を示す。10°で約2/3となります。 注(2)最高回転数は偏角5°以下の場合を示す。10°で約2/3となります。 注(3)偏心・偏角を最大で使用する場合は組立時のL±0.5を守ってください。偏心・偏角が小さい場合は許容伸縮内で使用できます。 注(4)軸方向許容伸縮は偏角5°以下の場合を示す。10°で約2/3となります。